

令和3(2021)年度

学校と地域の連携推進セミナー③ 実施報告

実施日：令和3年11月16日（火）

○ 事例発表「学校と地域がつながる取組～地域連携教員と地域コーディネーターの活動の実際～」

小山市立若木小学校 教頭 上野 浩子 氏
日光市立足尾中学校 教諭 小倉 孝司 氏
県立那須高等学校 教諭 竹林 悠 氏
県立益子特別支援学校 教諭 増渕 友理 氏
宇都宮市立明保小学校 地域コーディネーター 大島 和枝 氏



4名の地域連携教員と1名の地域コーディネーターからの事例発表をリモートで行いました。学校側からは、それぞれの地域の特色を生かした多種多様な取組や地域連携教員としての心掛けを、地域側からは、地域コーディネーターとしての学校との関わり、様々な関係諸機関とのつながりを密にした活動や組織を生かした取組などについて具体的な紹介がありました。また、学校側と地域側が現在感じている課題や苦勞している点、今後に向けての話なども聞くことができました。これらの事例発表から、受講者は、それぞれの地域でどんな連携ができるのか、改めて考えるきっかけとなりました。

後半のブレイクアウトセッションでは、地域ごとに集まって各学校の地域連携についてグループで情報交換をし、さらに地域側からの視点を意識した連携活動について協議しました。教員と地域コーディネーター、行政職員がそれぞれの立場から意見を交わすことで、お互いの連携に対する思いやニーズなどを知ることができ、受講者は現在の取組の参考にすることができました。また小・中・高・特別支援など発達段階や校種に応じた取組を知ることで、今後の連携活動に関するヒントも得ることができました。

【受講者の感想から】

(地域コーディネーター・行政職員)

- ・地域連携教員の立場からの実情やお考えを聞くことが出来て、大変参考になりました。ひとつの活動がまた次の活動に繋がり、どんどん広がっていくのを感じました。先生とコーディネーターとの間での情報共有を大切にし、新たなニーズにもアンテナを張りながら、自分たちの地域では何が出来るか、何がしたいか、共に考え取り組んでいきたいと思いました。
- ・地域連携教員の事例発表は初めて聞いたので、学校側の視点から学ぶことが多くあり、刺激になりました。
- ・行政が進める（進めたいと思っている）地域連携と学校側が本当に必要としている地域連携の違いをリアルに知ることが出来たので、とても良かったです。

(教員)

- ・ブレイクアウトルームでは、今年度から地域コーディネーターをされている方や高校の先生の話を知ることができ、一言で連携といっても、校種や立場に関わり方は大きく変わることも改めて感じました。今自分の置かれている小学校の地域連携教員という立場で、本校でできる取組を見直していきたいと思います。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp

